

# 未来の長浜市を創造するまちづくり委員会

## 第7回 産業分科会 議事録

日時	平成21年11月16日(月) 18:00 ~ 19:10		
場所	長浜市役所 本館3階第1会議室		
議題	産業分科会提言のまとめについて		
出席者	分科会委員*敬称略 吉田豊、村上宣雄、国友隆房、松井京美、嶋崎善弘 森田義人、松本長治、稲田司		
市	分科会事務局(商工振興課) 大塚義之、小足久司		
6町	なし		
傍聴者	あり(人) (なし)	報道機関	あり( ) (なし)

### 【協議結果】

#### ① 産業分科会提言のまとめ

- ・市長に提出される提言書の素案を正副分科会長及び事務局でまとめ、12月7日までに確認したうえで、委員会事務局に提出し、12月14日に分科会を開催し、委員全員で最終確認することとなった。

#### ② 次回日程とテーマ

- ・次回日程 12月14日(月) 18:00~
- ・次回開催場所 「長浜市役所本館3階第1会議室」
- ・次回テーマ 「産業分科会提言書(案)の確認」

#### ③ その他

### 【主な意見】(要点列記)

会長 本日の議題は、分科会提言のまとめについて協議いただくことであるが、まずは11月13日に開催された法定協議会についての報告を市からいただきたい。

市 議事録の抜粋を添付するようにとの意見があったが、他の分科会との調整が難しかったため、議事録そのものを添付することとなった。  
提言については、分科会ごとに1枚にまとめ、補足するための資料としては分科会ごとに4ページでまとめることとなる。

会長 項目ごとにメインの提案をしたらどうかとか、思い入れのあるものを提案したらどうかとの意見もあったが、どういうまとめにすればよいか意見をいただきたい。

- A委員 結果より過程を大事にするのであれば、議事録を載せて、それを踏まえたまとめになればいいと思う。
- B委員 大きな意見の食い違いはないが、(3)次世代育成産業の振興の中で、安易に農地を工業団地に転用という表現はいかがなものかと思う。
- C委員 将来的なイメージを漠然とした表現ではなく、インパクトのある表現にしたいと思う。インパクト性を持たせるには、突出した意見を表に出す方がよいように思う。新長浜市は、中長期的にみても、第1～3次産業のバランスをとることが、どんな時代にも、どんな景気においても、安定した市政運営をするためには大切なことであり、そこを押すべきであると思う。
- D委員 記載するスタンスとして、合併のスケールメリットを考えると各項目について、現状の維持拡大をすることと、将来に向かって夢と希望の持てるもの、の2つの施策を記載するべきであると思う。
- E委員 新市の産業集積地としては、立地バランスから考えて、次は木之本IC付近としてはどうだろうかなど具体的なものを書いてはどうだろうか。
- F委員 良くまとまっているため、みんなの意見をまとめてくれればそれでいいと思う。
- G委員 産業分科会の中間報告書は抽象的な表現がたくさんあるが、住民自治・行政財政分科会では～するべきという強い表現をしている。産業分科会では、現在やっていることと新しい提言が半々であり、提言として弱い。  
合併を契機に、6町の自然と文化を活かすこと、中心部はもとより外部へ工場を誘致する取り組みが必要。就労対策に取り組むべきということを書き加えるべき。移住の取り組みがどこかに入らないだろうか。
- 会 長 新市になったときに、市民に期待と夢を持ってもらってわくわくしてもらうものが提言であると思う。
- C委員 新長浜市になって、中心部に集中することは当然であるが、その中でも、生活するうえでは、商業も必要であり、工業も必要であるため、生活しやすい環境を整えることは重要である。この考えをもつと、1局集中ではなく、2局集中等にすることも必要ではないだろうか。何かをなおざりにするのではなく、すべてのものが大切であり、それぞれの地域でやっていけるものもあり、それをうまく長浜が奏でていければいいと思う。
- A委員 提言は、誰が読んで、何のための参考にして、どのような施策をうっていくかを考えると、ほとんどの市民の目には触れない。しかし、この議論の経緯は今後また基本方針等をたてるときに役立つかもしれないと思っている。これだけの人が集まって議論したことに意義があると思う。残しておくことが大事であると思う。
- 会 長 誰が読むかわからないが、こういう想いを持って取り組むということを経験の中に入れていきたい。

D委員

議論することが大事だと思う。

会 長

将来につながっていく提言ができたらと思っている。

提言書は、今回の議論を踏まえて案を作成し、12月7日までに提案させていただくので、正副会長と事務局に一任していただきたい。案を委員に確認いただいた後、コンサルへ投げかけていきたい。